

「文化芸術白書」の刊行にあたって



文化芸術は、人々の生活に溶け込み、人々をつなぎ、心を豊かにするとともに、地域を活性化する上で重要な役割を担っています。

このため、私は、文化芸術の振興に関する基本的な指針となる「やまぐち文化芸術振興プラン」に沿って、心豊かで活力ある地域を育むやまぐちの文化力の創造を基本理念として、文化観光を推進するとともに、文化芸術を担う人材の育成や、県民誰もが文化芸術に親しめる環境の整備を積極的に進めているところです。

昨年度は、本県の多彩な文化財を新たな観光素材として磨き上げ、誘客の拡大を図る文化観光の推進や、中四国地方の民俗芸能が一堂に集結した「第66回中国・四国ブロック民俗芸能大会」を開催しました。

また、今年度からは、来年秋に開催するＪＲのデスティネーションキャンペーンの主要企画として、瑠璃光寺五重塔や錦帯橋といった、本県の代表的な文化財を核とした新たな観光コンテンツの開発に取り組んでいます。

この白書は、山口県文化芸術振興条例に基づく年次報告書であり、令和6年度に実施した施策や令和7年度の計画等を取りまとめたものです。本書を通じて、県民の皆様に文化芸術に関する理解と関心を一層深めていただき、より多くの皆様が充実した文化芸術活動を楽しみ、実践していただけることを心より願っています。

令和7年(2025年)10月

山口県知事
村岡 嗣政